

土木学会 鋼構造委員会
鋼構造設計標準の国際化対応小委員会

【お知らせ】

本小委員会は、2006年をもって活動を終了しております。

【設立の目的】

- 鋼構造に関する設計標準の国際化に主導的に対応できるようにするために、国土交通省や日本鉄鋼連盟等関係各学協会との連携の中から、鋼構造委員会として果たすべき役割分担を明確にする。さらに、対応の基本方針と具体的な対応要領を策定するとともに、分担すべき役割を継続的に果たせるようにする。
- ISO規格、海外規格の制定動向を継続的にモニタリングして分析すると共に、国際化対応のための調査や啓蒙事業を企画する。
- 土木学会 ISO 対応委員会に対する鋼構造委員会としてのサポートを行う。

【活動内容】

- CEN, 非 CEN のネットワークの構築と, TC167 (鋼構造) における ISO 規格の適正化に関する国内外協議
- ISO 規格の改定や, ISO 規格の提案・審議に関する国内外協議
- 我が国の技術に応じた部分安全係数のオーソライズと, 試設計による検証
- ISO 規格, および, 国内外規格・規準による試設計のキャリブレーション
- TC98 (設計の基本) における動向のモニタリング, 特に ISO2394 を補正する主旨で APEC を舞台に新たに提案された ISO/WD22111
- 「構造設計の一般的枠組」の分析と適切な対応
- Eurocode 3 の調査
- 次期道路橋示方書改訂に向けての提案の作成

【活動・成果報告】

- 2003.11.11 第1回委員会
委員会の位置づけの説明、活動方針の自由討議、ほか
- 2004.03.17 第2回委員会
Eurocode3の取り扱い、JSSC ISO/TC167 国内対策委の状況、ほか
- 2004.06.04 第3回委員会
- 2004.xx.xx 第4回委員会
- 2005.02.23 ~ 03.16 第5回委員会 (メール審議)
TC98 国内分科会および TC98/SC2/WG8 における検討事項

- ISO 対応特別委員会への派遣助成申請
英国道路庁におけるユーロコードと設計認証制度に関する講演ほか
- 2005.05.17 第 6 回委員会
ISO/TC98/SC2/WG10 Durability の国内 WG 対応
ユーロコード 3 最終版の内容検討結果
JSSC 国際委員会の国際整合化 WG の立ち上げについて
- 2005.07.xx 第 7 回委員会
- 2005.10.xx 第 8 回委員会

【委員構成】

委員長	前田研一	東京都立大学
副委員長	依田照彦	早稲田大学
幹事長	杉山俊幸	山梨大学
委員	池田学	(財)鉄道総合技術研究所
	岩城達思	パシフィックコンサルタンツ(株)
	片山猛	新日本製鐵(株)
	佐藤尚次	中央大学
	佐藤陽一	石川島播磨重工業(株)
	下瀬健雄	石川島播磨重工業(株)
	高木伸也	独立行政法人土木研究所
	中島章典	川崎重工業(株)鐵構ビジネスセンター野田製造部
	中州啓太	国土交通省国土技術政策総合研究所
	中村聖三	長崎大学
	野上邦栄	東京都立大学
	能勢卓	石川島播磨重工業(株)
	藤井堅	広島大学
	藤野陽三	東京大学
	山口栄輝	九州工業大学
	山本広祐	(財)電力中央研究所
	連絡幹事	田中雅人 (株)東京鉄骨橋梁